

経営比較分析表（平成30年度決算）

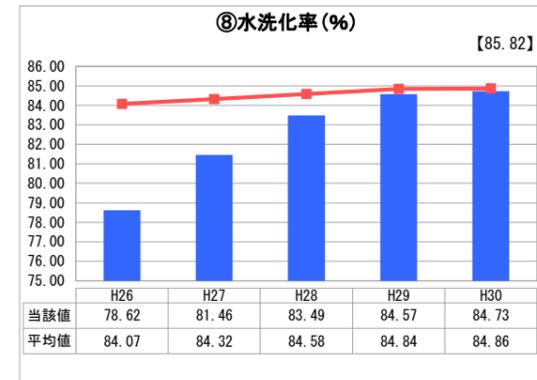
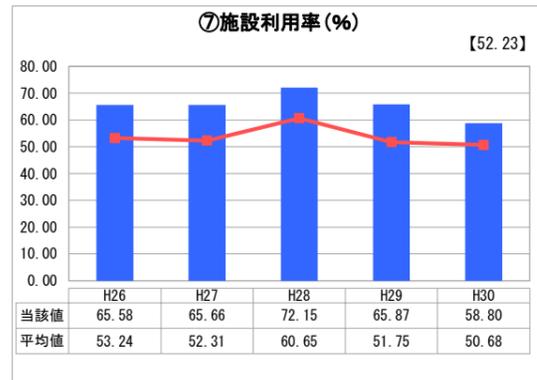
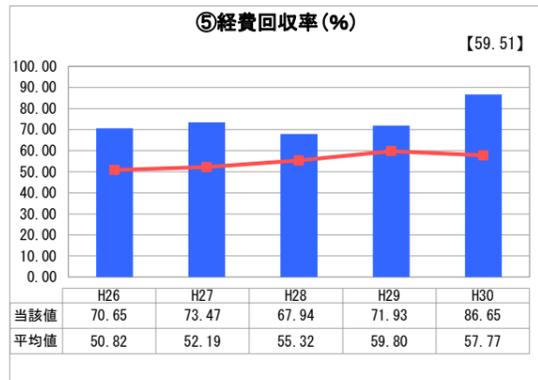
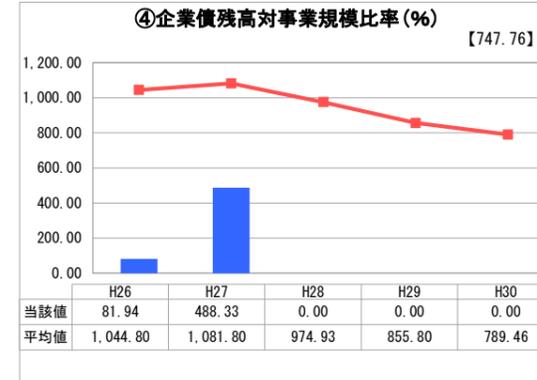
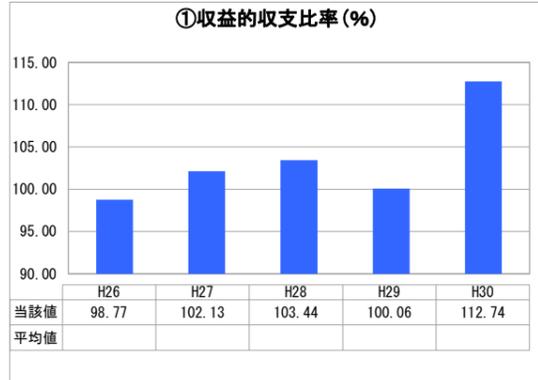
埼玉県 蓮田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.15	100.00	3,780

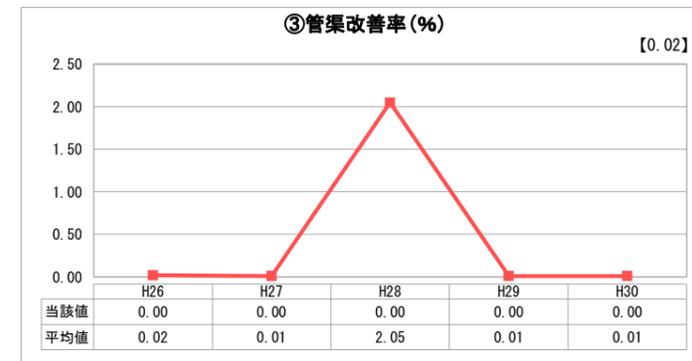
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,961	27.28	2,271.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,799	1.33	2,856.39

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水事業は、上平野処理区（平成9年供用開始）、高虫処理区（平成10年供用開始）、駒崎・井沼処理区（平成14年供用開始）、根金・貝塚処理区（平成20年供用開始）と、4つの処理区で構成されそれぞれ処理を行っております。

この4つの排水処理施設の使用料収入は約4,779万円、使用料単価は157.5円/m³となりました。汚水処理原価は181.87円/m³、経費回収率は86.65%となり前年度より大きな改善がみられました。使用料収入の不足分は現在公費で補っている状況です。施設の更新等は今後増加する状況にあることから、今後も継続的な経営改善を行っていく必要があります。

- ①収益的収支比率の上昇（維持管理費の減少に伴う経費回収率の改善による）
- ④企業債残高対事業規模比率は前年度と同じ指数
- ⑤経費回収率の改善（工事抑制による維持管理費の減少による）
- ⑥汚水処理原価の改善（有収水量の増加、維持管理費の減少による）
- ⑦施設利用率の低下（処理水量の減少による）
- ⑧水洗化率は前年とほぼ同じ指数

2. 老朽化の状況について

4つの処理施設のうち、上平野処理区や高虫処理区は供用開始から20年が経過しようとしております。現在、管渠については老朽化という状況には至っておりませんが、集落排水処理施設やマンホールポンプ等施設のうち、一部において耐用年数を超えた設備があります。利用者へ安心・安全なサービスの提供を図っていくためにも、これらの耐用年数を超えた設備等につきましては、計画的に修繕と更新を行っていくことが必要な状況にあります。

全体総括

これからの当市の農業集落排水事業は、集落排水処理施設とマンホールポンプ場施設の修繕と計画的な更新を中心とした維持管理が重要となってきます。

また、今後においてより独立した、そして安定的な事業運営を図っていくためにも、引き続き、経費のさらなる抑制や新たな増収への取り組みを行うなど、今後も創意工夫し、効率的、効果的な事業運営に努めていきたいと考えております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。